

# 公益財団法人 Save Earth Foundation

## 2025 年度事業計画書

### 1. 事業活動

#### 1-1. 資源循環事業

当法人は、持続可能な循環型社会の構築に貢献することを目指し、有機質資源を地域で循環利用する仕組みとしての、「食品リサイクルループの構築と拡大」を推進する。

食品リサイクルループを構築し拡大するためには、消費者・排出事業者・廃棄物処理事業者・生産者・行政といった全ての関係者が資源循環に対する意識を高め、それぞれの立場での役割を果たしていく必要がある。

そこで、本事業では、(1) 資源循環の重要性についての理解促進活動として「ゼロエミッション研究会」を主催し勉強会を実施する。また(2) 食品リサイクルの推進と正しい法律解釈のための食品関連事業者、リサイクラー等を対象にした講習会を実施する。そして(3) 主に会員企業に向けた廃棄物管理の適正化と再資源化支援として、「食品リサイクルループ大臣認定の取得支援」を行い、循環型社会の構築に貢献する。更に、(4) 愛知県循環型社会形成推進事業で取り組んだことを継続し、付加価値の高い食品循環資源の手法について調査研究を進める他、自治体と連携し、市民と企業が取り組む地域循環共生圏の構築を進める。

#### 【2025年度の事業内容（公1）】

|                                      |                       |                                       |                                                                           |                                                                     |
|--------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 公<br>1<br>資<br>源<br>循<br>環<br>事<br>業 | 普<br>及<br>啓<br>発      | ゼロエミッション研究会の開催                        | ・東京23区内、福岡、山口での小売、外食事業者による共同食リループを拡大する<br>・ループ構築済み4地域(名古屋、群馬、新潟、京都)の整理を行う | ・東京23区内、福岡、山口の参加企業を増やす<br>・再生利用事業計画の認定取得<br>・参加店舗の現状の把握と整理をし、企業を増やす |
|                                      |                       | 排出事業者、収集運搬事業者・リサイクラーなどを対象にした勉強会の開催    | ・正しい法律解釈、リサイクルの推進を目的とした研究会を開催する                                           | ・会員企業が廃棄物の適正管理についての知識をつける                                           |
|                                      | 適<br>正<br>化<br>支<br>援 | 賛助会員企業の食品リサイクルループ構築支援(ゼロエミッション研究会と連動) | ・既存地域での食品リサイクルループ参加企業を増やし、SEF-Netで適正管理を勧める                                | ・参加企業へSEF-Netの導入                                                    |
|                                      | 調<br>査<br>研<br>究      | 行政、市民と連携した地域資源循環共生圏の構築                | 自治体の商店街を対象にして、商店街の外食・小売店舗の食品残さを共同回収リサイクルをする仕組みを構築する                       | ・大田区、熱海市の食品リサイクルの仕組みの構築と実証実験の実施                                     |
|                                      |                       | 愛知県循環型社会形成推進事業「コーヒー豆かすリサイクルループの構築」    | ・事務局として調査研究を継続する                                                          | ・コーヒー粉の資源化の社会実装に向けて進展させる                                            |

#### 1-2. 森林再生事業

日本は国土面積の約66%が森林に覆われた、世界有数の森林大国である。森林は生物多様性の保全や地球温暖化の防止など、様々な機能を通じて私たちに多くの恩恵をもたらしている。この豊かな森林を未来の子どもたちに残していくことは、現代を生きる私たちの役割である。そこで、本事業では、(1) 民有林や公有林の管理を受託して、それぞれの地域や森林の特性に合わせた再生

保全活動を実施し、また（２）再生保全活動の過程において発生する間伐材などの森林資源の利活用を促進、そして（３）森林をフィールドとした環境教育の機会の提供を通じて、自然環境の保全に貢献する。

更に、森林の多面的機能における CO2 の吸収能力に着目し、（４）J-クレジット制度を活用した森林再生保全の仕組みづくりに取り組む。

また、これらの活動を普及し啓発をしていくために、「森林アカデミー」を主催し勉強会を通して企業が森林活動から得られる価値を学び、実践する。

## 【2025年度の事業内容（公2）】

|         |                      |                 |                                                                                                                                                                                |
|---------|----------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 森林アカデミー |                      |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業が取り組む森林再生保全、生物多様性保全を実践的に学ぶ場の提供</li> <li>・企業に対してTNFD開示、自然共生サイト認定取得の支援</li> <li>・会員企業の獲得</li> </ul>                                    |
| 日向の森    | 総合的な教育の森づくり          | 草刈・除伐・間伐等       | これまで植樹してきた木の保育のため草刈・除伐・間伐を実施                                                                                                                                                   |
|         |                      | 林道整備<br>自然観察ルート | ボランティア活動と連動させ、一部を専門家や事業者へ委託し、新たな自然散策用の道を開拓する                                                                                                                                   |
|         |                      | 環境教育<br>学校受託    | 山武市小3：自然とふれあう。自然に興味を持つ<br>小5：林業を知る。千葉の銘木サンプスギを知る<br>木材を利用することがなぜ環境に優しいか学ぶ                                                                                                      |
|         |                      | 生物調査・保護         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然共生サイトへの申請</li> <li>・生物調査の継続</li> </ul>                                                                                               |
|         |                      | イベント            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹 広葉樹185本 交流会</li> <li>・子ども達へ自然とふれあう機会の提供</li> <li>・林業文化や人と森の関わり方を学ぶ</li> <li>・森林生態や地球環境について学ぶ</li> </ul>                             |
| 埴谷の森    | 持続可能な森の運営<br>企業の森づくり | 森の整備            | 除伐や草刈りを一部業務委託し、残りをボランティアと一緒に整備する                                                                                                                                               |
| 板川の森    | 持続可能な森の運営<br>企業の森づくり | 森の整備            | オーナーへコンタクト森林の現状把握し、活動内容計画立てる                                                                                                                                                   |
| 東御の森    | 生物多様な森づくり            | 生物調査<br>保護活動    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境調査(生物全般)</li> <li>・モニタリング調査</li> <li>・特定外来種(植物)駆除</li> <li>・水生生物調査</li> <li>・哺乳類の動向調査(センサーカメラ)</li> <li>・地域関連団体との協力体制構築</li> </ul> |
|         | 市民と森の交流を普及           | 環境教育            | 森林生態系・生物多様性(夢教育・SDGs教育との連動)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・センス・オブ・ワンダー</li> <li>五感を使って自然とふれあう</li> <li>・対象中1～高2まで</li> </ul>                                       |
|         |                      | 市民と森の交流         | 東御市からのオファー待ち<br>25年度依頼を受けた場合、26年度開催                                                                                                                                            |
|         |                      | その他<br>鴻夢館      | 鴻夢館庭園の整備受託                                                                                                                                                                     |
| 海上の森    | 市民参加型<br>地域循環の森づくり   | 市民参加<br>森づくり活動  | 地元企業や一般市民が話し合いながら、企業の森を作る実践的な学びができる。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りと企画のディスカッション</li> <li>・選木した木以外で間伐体験</li> <li>・みんなの森のためにベンチや東屋作成計画を立てる</li> </ul>           |
|         |                      | 間伐              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海上の森センター及び林務部、業者と間伐本数の確定</li> <li>・間伐材を企業が利用するスキーム確立</li> </ul>                                                                        |
| 丹波の森    | 企業の森づくり              | 企業の森<br>支援      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒研修の場として森の活動企画支援</li> <li>・25年度以降のビジョンを新担当者と計画</li> </ul>                                                                             |
| 臼杵の森    | 持続可能な市民と<br>森づくり     |                 | ・26年度活動に向けて準備                                                                                                                                                                  |

## 2. 公益法人の運営

### 2-1. 会員・寄付の獲得

食品リサイクルループの構築、森林再生保全活動への参加を目的とした企業を対象に、SDGsへの貢献を訴求し、当法人の趣旨に賛同していただける賛助会員を積極的に募集する。

また、会費を特定の事業に用途を限定した寄附として扱う「サポーター」や事業指定寄附の獲得にも注力していく。

2－2．広報活動

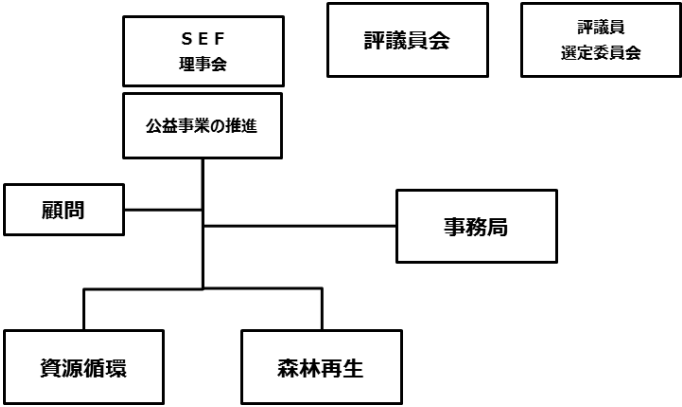
当法人の認知度を高め、資源循環や森林再生に対する意識を啓発し、また支援者や参画者を広く募るため、広報活動を強化していく。

ホームページの情報更新、事業別活動成果報告書の作成、ニュースレターの発行（四半期毎）など、情報発信に取り組む。また、役員、会員、支援者に向け、当法人が取り組む2つの公益事業をテーマとした総会を開催する。

2－3．事業の推進体制

理事会、評議員会とは別に、定例会を毎月開催し、迅速な意思決定と円滑な業務の遂行を図り、事業を推進していく（図1参照）。

（図1）



【2025年度の事業内容（管理部門）】

|      |                       |                                          |
|------|-----------------------|------------------------------------------|
| 共通   | 新規会員入会の促進<br>会員間交流の促進 | 公益目的事業への理解と参画を促し、入会を促進する                 |
|      |                       | 総会を開催する                                  |
|      | 告知・広報活動               | ・ニュースレターの季刊発行、ホームページ情報の適時更新する            |
| 法人運営 | 評議員会                  | ・上期1回、下期1回を予定<br>（他、決議事項がある場合は随時開催）      |
|      | 理事会                   | ・5月、6月、1月、2月は理事会として開催する                  |
|      | 定例会                   | ・平常月は定例会として開催する<br>（決議事項がある場合は、理事会として開催） |

以上